



特別養護老人ホーム 西野ケアセンター

〒063-0032 札幌市西区西野2条8丁目1-8

社会福祉法人宏友会

事業概要：特別養護老人ホーム(定員80名)、短期入所生活介護(定員11名)

職員体制：正規職員67名、常勤職員(非正規)5名、非常勤・パート5名

お話を伺った方：施設長 菊地伸さん

※職員体制は令和2年11月1日現在



アクティブ シニア

地域とのつながりを大切に、 事業所を支える人材を確保

地域づくりを重要な柱としている西野ケアセンター（以下、センター）では、事業を通じてかかわりが生まれた住民を、ボランティアや職員として採用しています。また、地域の他の法人と連携して、職員研修や求職者向けの見学会等を行い、地域としての人材確保や育成に取り組んでいます。

地域住民とのつながり、法人間のつながり

センターでは、地域との連携を大切にして、新しい介護のあり方を模索し、住民が笑顔で過ごせる地域づくりをめざしています。センターの採用活動では、地域づくりと関連した特長が2つあります。

1つは、**地域とのつながりをつくるなかで、地域にいる多様な人材との接点を増やしていることです。**センターでは、地域住民向けの福祉イベント(福祉・介護の体験や講話・研修会)を開催したり、市内の商業地でコミュニティカフェ(以下、カフェ)を運営しています。カフェを地域住民の交流の場とするほかに、福祉の相談窓口を開設したり、住民向けの講座なども行っています。カフェは、登録ボランティア(主に未就労の女性や高齢者など18名)とお手伝いの方で運営していますが、そのつながりをきっかけに、ボランティアから事業所の職員(介護キーパー)に移行していただくケースも多くあります。

カフェでは、地域と連携して子ども食堂も運営しています。将来、子どもたちが福祉の仕事にやりがいを感じる未来をつくりたい、子どもから高齢者まで幅広い世代を支える事業所でありたい、との目標を掲げています。

もう1つの特徴は、近隣の3つの医療法人、社会

福祉法人が参画する**西区医療福祉ネットワークの活用**です。3法人で連携して職員対象の研修会や、求職者向けの職場見学会を開催しています。地域では多くの法人で人材不足に悩んでいるため、今後も法人間のネットワークを活かして、地域全体の人材確保・育成につなげていきたいと考えています。





“現場の介護を守る” 介護キーパー



センターで採用している高齢者を「**介護キーパー**」と敬意をこめて呼んでいます。その由来は‘介護職を守る役割’であり、間接的・補助的な業務を担当していただいています。

採用にあたっては、高齢者の求める働き方や、掃除や手芸など得意なことを丁寧にヒアリングし、担当業務や勤務体制に反映させます。令和元年度の介護キーパー数は法人全体で7名（うちセンターは4名）で、84歳を筆頭に、70～80歳代を主に、人生経験を生かして活躍いただいています。

介護キーパーの導入によって、介護職員の負担が軽減し、利用者のケアに集中することができるなど、**ケアの専門性を高める**ことができます。



人材の確保には多様な入口を用意

人材採用の入口として、職場見学・体験（まず事業所や仕事内容を知ってもらう）、ボランティア、アルバイト、パート職員、正規職員など、**さまざまな入口を段階的に設定**し、その方の状況に応じて入ってきてもらえるようにしています。

また、**現任の職員や元職員、学生、地域の関係者などを介しての紹介**も多く、そうした紹介から採用に至った職員は定着率も高い傾向があります。ちなみに、介護キーパーの採用は、現状ではほぼ100%知人からの紹介です。



法人全体の人材確保及び研修体制を整備



当法人では、人材確保担当部門(担当者)を設置予定(令和2年度末)で、まずは法人内の職員1名を担当とし、試行しつつ、次年度に向けて**法人全体の人材確保の戦略**を固めたいと考えています。

また、法人内に設置している人材育成委員会では、**法人全体の職員の研修を企画実施**するとともに、職員間の交流等も進め、職員の質の向上と定着に取り組んでいます。職員に対する手厚い研修体制は、「スキルアップを図れる」として学生など若い世代へのアピールポイントとなっています。